



集まれ！介護予防教室

いつまでも健康で自立した生活が過ごせるよう、介護予防に取り組みませんか。詳しい日程は、お問い合わせください。

▼出前講座

内 容 老人会や地区行事など 10 人以上集まる機会に、介護予防出前講座を開催（1 地区 1 回）

▼すこやかクラブ

と き (月 2 回)	ところ
火曜日 13 時 30 分～ 15 時	中央公民館
水曜日 14 時～ 15 時 30 分	保健センター
木曜日 13 時 30 分～ 15 時	湯のまち公民館

内 容 懐メロに合わせたストレッチや転倒予防体操など、主に運動を中心とした自主サロン

▼はつらつシニア教室

と き 5 月～ 12 月の月 1 回 基本第 4 月曜日
※ 9 月は 30 日、12 月は 16 日開催
14 時～ 15 時 30 分

ところ 保健センター

内 容 運動や栄養、認知症予防などさまざまな講座で、8 回限定の卒業型教室

▼脳活性化教室

と き 月 2 回 金曜日
ところ 保健センター

コース	時 間	対 象
生き生き 若返りコース	9 時 30 分～ 11 時 30 分	主に 75 歳 以上の人
チャレンジ コース	14 時～ 16 時	主に 65 歳～ 74 歳の人

内 容 脳活性化レクリエーションや体操、栄養講座、音楽講座など認知症予防の教室



フレイルサポーターになってみませんか？

年をとって心身の活力が低下した状態をフレイルといいます。いつまでも元気で健康的な生活を送るためには、フレイル予防がキーワードです。

市では、市民の介護予防・健康づくりのお手伝いをしてくださるフレイルサポーターを募集しています。

フレイルサポーターの主な活動

- ・フレイルチェックの運営
準備や測定、フレイルについての説明などを行います。
- ・フレイル予防の普及啓発
出前講座や公民館祭りなど、さまざまな場所に出向いて市民の皆さんにフレイル予防を呼びかけます。

フレイルサポーターになるためには？

フレイルサポーターになるには、市が開催している養成講座を受講する必要があります。

▼平成 31 年度フレイルサポーター養成講座

と き 6 月 25 日 (火) 9 時～ 16 時

ところ あわら市役所

対 象 平日の日中に活動ができる人
(元気な高齢の人大歓迎)

定 員 10 人程度

申込み 【期限】 6 月 21 日 (金)

健康長寿課にお申し込みください。

現役フレイルサポーターにインタビュー！

皆さんこんにちは！フレイルサポーターの柴田です。サポーターになって 3 年目となります。私は初めてフレイルチェックを行ったとき、自分自身がフレイルだということに気がしました。しかし、ウォーキングや筋トレ、食事など生活習慣を見直し、半年後には健康な状態に戻ることができました。そのことがとてもうれしく、サポーターとして少しでも皆さんの健康づくりのお手伝いができたらと活動しています。

体力の続く限り、ストップ・ザ・フレイルを合言葉にさまざまな場で、健康づくりへのお手伝いを続けていきたいと思います。

皆さん、私たちと一緒にあわら市のフレイル予防を盛り上げませんか？



柴田 義則 さん

あわら市観光白書

平成 30 年実績

平成 30 年 1 月から 12 月までの 1 年間にあわら市を訪れた観光客は、172 万 6,500 人（対前年比 9 万 3,700 人、5.1% の減）となりました。このうち宿泊客は、81 万 6,300 人（同 1 万 5,100 人、1.8% の減）、日帰り客は 91 万 2,000 人（同 7 万 8,500 人、7.9% の減）と、北陸新幹線金沢開業後 4 年目をむかえ、開業前年を下回る結果となりました。

平成 29 年との比較

災害や旅行形態の変化が影響

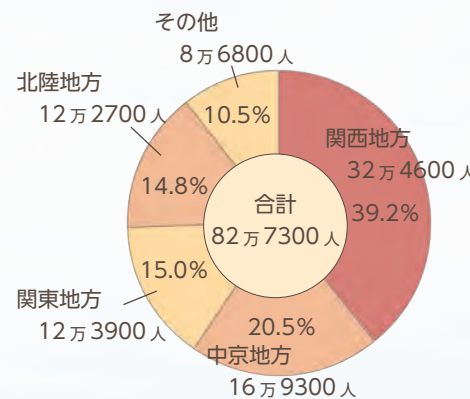
あわら温泉の宿泊客は 80 万 5,300 人で、前年より 1.8% の減少となりました。昨年は 2 月の大雪により、1 万 1,000 人以上の宿泊キャンセルが発生するなど大きなダメージを受けました。また、豪雨や台風など度重なる災害が発生し、特に豪雨災害があった 7 月は 10.8% の減と大きく減少しています。そのほか、5 月に老舗旅館が火災で焼失し休業状態となったことや、旅行形態が団体旅行から個人や少人数のグループ旅行へシフトするなど一部屋あたりの宿泊人数が減少していることも要因の一つと考えられます。

福井国体により入込増

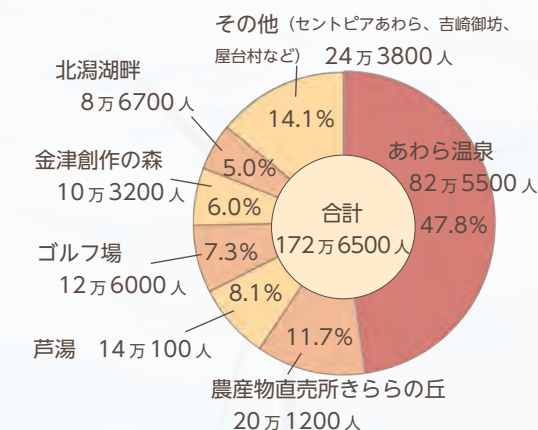
各観光地においては、金津創作の森と a キューブを除いては減少傾向にあり、多くの施設が大雪や台風、大雨など度重なる災害による影響が大きいと思われます。

一方で、昨年は「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」が開催されたことにより、3 万 7,800 人があわら市を訪れ、大いににぎわいを見せました。あわら温泉の入込客数が、ほ

平成 30 年あわら市地域別観光客数（県外客）



平成 30 年あわら市観光地別入込客数



とどの月において減少傾向となった中、同大会が開催された 9 月、10 月は前年同月比 10%、22% の増となり、また、同期間の芦湯や屋台村の入込数も増加したこと、こちらにも国体開催による効果があったと考えられます。

外国人観光客数の伸びしろ大きく

あわら温泉の外国人宿泊者は 1 万 5,283 人と、32.4% 増加しており、前回と比較して 21 ポイントの増となっています。しかしながら、日本政府観光局（JNTO）が平成 31 年 1 月に発表した 30 年の訪日外国人客数（推計値）は、前の年に比べて 8.7% 増の 311 万 2,000 人と過去最高となったことからみると、あわら温泉の宿泊客数はまだまだと言わざるを得ません。国・地域の内訳では、台湾からの観光客が最も多く、次いで香港、中国、タイからの観光客が高い割合を占めています。

総合的評価

市全体で見ると、入込客数および宿泊客数とともに北陸新幹線金沢駅開業の前より落ち込むという厳しい結果となりました。北陸新幹線の利用者数が初の前年超えをしたにもかかわらず、あわら温泉だけでなく、周辺温泉地の宿泊客数が軒並み減少していることを考えると、金沢から一歩先へ呼び込む施策がまだ不足していると考えられます。今後は、金沢に近いことを強みとしたプロモーションをより強化し、関東方面からの誘客をさらに推進する必要があります。また、北陸新幹線の敦賀延伸によりアクセスが不便になる関西方面や中京方面からの観光客の減少が今後予想されることから、併せて関西・中京方面への新たな PR 施策を検討することが課題の一つとして挙げられます。

今後の対応

観光振興戦略の計画的な実施

目前に控えている令和 5 年の北陸新幹線芦原温泉駅開業を踏まえ、これまでの関西圏・中京圏に加え、関東圏、さらには海外からの観光客を迎え入れるため、「あわら市観光振興戦略」を本年 4 月に新たに策定しました。「和心あふれる国際的な感幸地」というコンセプトのもと、次の 7 つの戦略を掲げ、各戦略の方針に沿って 16 の施策、52 の事業を実施し、観光交流人口の増加と観光消費額の拡大を図ります。

- 「あわら市」の魅力を磨き上げ
- 地域の個性を生かした魅力的な観光エリアと拠点の創造
- マーケティングに基づいた誘客拡大
- ターゲットに伝える戦略的な情報発信と営業活動の展開
- 組織や地域を結ぶネットワークの整備
- 観光振興を担う人材育成と推進体制の充実
- 世界から招く受け入れ環境の整備

観光振興戦略の計画期間は平成 31 年度から 5 年間としており、初年度となる本年度は芦原温泉駅周辺整備やインバウンド誘客の推進をはじめ、観光素材の掘り起こしや磨き上げなどを戦略のロードマップに基づき、計画的に実施していきます。

また、事業の進捗状況の確認や効果検証を行い、社会経済情勢の変化や外部有識者の意見を踏まえながら、より効果的な事業の推進に努めます。

問合せ 観光振興課

☎ 73・8029